

## 平成 28 年度 第 2 回学校協議会記録

### 1. 校長挨拶

### 2. 今年度課題への取り組みの進捗状況について

校長：7 月以降の動きについて

デソニル高校との姉妹校提携、就職内定率 83%、サッカー部公式戦勝利、夢スピーチコンテストでファイナリストとして発表、等。

メディアを通じての情報発信

2 件（バラエティとドキュメンタリー）予定。

学習時間の確保

SHR 後の朝学、各種検定試験へ学習活動が定着してきている。

城南女子短期大学と高大連携で志願する生徒も多くなった。

体育大会来場者数は 481 人（+35%）。

遅刻、欠席、懲戒減少を維持。

学校の体制を変える試みとして「個人提案制度」を導入した。

首席：広報チラシなど一新した。体験入学、文化祭、OC の情宣中。教員による中学訪問。

夏の体験入学に中学生約 60 名が参加。本校の立地など更に周知したい。

《1 年主任、2 学年主任、3 学年主任、教務主任代理、教科用図書選定委員会（平成 29 年度用教科書の選定結果報告）、進路指導部長、生徒会部長、生徒指導部長、総務部長、保健部長からそれぞれ報告。》

Q：1 年生の 8 月の遅刻・欠席が増えているのはなぜか？

A：中だるみ、長欠生徒の増加、停学指導の欠席、始業式を 8 月中に実施したことなどが原因か。

Q：東北の「ヒマワリの種」はどういう経緯で導入したのか？

A：かつて、学校協議会委員で環境インストラクターの方から紹介

### 3. 基礎力診断テストにおける生活実態調査と分析について

教頭：前回の協議会のご指摘を受け、調査を行った。

- ・スマホなどの所有率 90% 超。使用方法についての啓発が必要。
- ・部活動をしている 4 分の 1 が「やってよかったことが特に無い」と回答。よいことが無いなら、なぜ部活動をしているのか理解に苦しむ。その部分で教員と生徒の意識のズレを埋めない限り、部活参加率は上がらないのではないか。
- ・80% が「落ち着いて勉強できる部屋がある」との回答。朝食、昼食についての調査結果を見ても、生徒の家庭環境はずいぶん改善された。

Q：平野高校でのケータイの扱いはどのようになっているか？

A：持ち込みは OK。休み時間は使用可。授業中は電源を切り、鞆の中に入れる。授業中の使用・着信は指導対象。使用した場合は、預かって保護者に返却するシステム。家庭での使い方には踏み込んだルールを設定してはいない。

Q：指導するなかでトラブルはないか？

A：特に無い。懲戒指導の例でも、指導の内容には納得している。

Q：SNS 上でのいじめ等について、保護者への研修などあったらうれしい。また、保護者が相談したい場合はどうしたらよい？

A：担任の先生を中心に相談してほしい。保護者向けへの啓発文は発信しているが、保護者まで到達していない様子。学校メールも活用したい。

Q：担任の先生には言いにくいこともある。担任の先生以外にも相談できたほうがいい。

A：新しい視点なので対応策を考えたい。

校長：今の中 1 世代は、生徒も保護者もスマホに精通している世代。今から対策をうっておかなければならないのではないかと思う。

## 7. その他

校長：次回協議会は 2 月 13 日（月） 15：00 校長室集合。

授業や SHR の様子を見ていただきたい。

全体会は 15：30 開催の予定。